

【第1部】基礎編（Q1～Q20）

Q1. 次の傍線部「し」を識別せよ。

昔、ありける男のこと。京に行きし人。

Q2. 次の傍線部「し」を識別せよ。

月清し。

Q3. 次の傍線部「し」を識別せよ。

旅行しけり。

Q4. 次の傍線部「し」を識別せよ。

悲しく泣く。

Q5. 次の傍線部「し」を識別せよ。

我し思へば、なほ恋し。

Q6. 次の傍線部「し」を識別せよ。

京に住みし人。

Q7. 次の傍線部「し」を識別せよ。

山高し。

Q8. 次の傍線部「し」を識別せよ。

学問したり。

Q9. 次の傍線部「し」を識別せよ。

我のみし知る。

Q10. 次の傍線部「し」を識別せよ。

風寒し。

Q11. 次の傍線部「し」を識別せよ。

見し夢。

Q12. 次の傍線部「し」を識別せよ。

美しく咲く花。

Q13. 次の傍線部「し」を識別せよ。

帰りし人。

Q14. 次の傍線部「し」を識別せよ。

仕うまつりしこと。

Q15. 次の傍線部「し」を識別せよ。

我ぞし思ふ。

Q16. 次の傍線部「し」を識別せよ。

夜もすがら勉強したり。

Q17. 次の傍線部「し」を識別せよ。

物悲しき秋の夕暮れ。

Q18. 次の傍線部「し」を識別せよ。

来し方。

Q19. 次の傍線部「し」を識別せよ。

月夜清し。

Q20. 次の傍線部「し」を識別せよ。

散りし桜。

【第2部】標準編（Q21～Q50）

Q21. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

行きしかば、知らず。

Q22. 次の傍線部「し」を識別せよ。

美しく眠る。

Q23. 次の傍線部「し」を識別せよ。

ありし日。

Q24. 次の傍線部「せ」を識別せよ。

いざ給へ、行かせたまへ。

Q25. 次の傍線部「し」を識別せよ。

物言ひし人ぞある。

Q26. 次の傍線部「し」を識別せよ。

旅ししければ、疲れぬ。

Q27. 次の傍線部「し」を識別せよ。

風強し。

Q28. 次の傍線部「し」を識別せよ。

思ひしことを書きとめぬ。

Q29. 次の傍線部「し」を識別せよ。

春来しを知らず。

Q30. 次の傍線部「し」を識別せよ。

悲しき朝。

Q31. 次の傍線部「し」を識別せよ。

雨降りし夜。

Q32. 次の傍線部「し」を識別せよ。

笛吹きし人。

Q33. 次の傍線部「し」を識別せよ。

我ばかりしおもふ。

Q34. 次の傍線部「し」を識別せよ。

出仕したまふ。

Q35. 次の傍線部「し」を識別せよ。

物言ひしかど、答へず。

Q36. 次の傍線部「し」を識別せよ。

風の音聞こえし。

Q37. 次の傍線部「し」を識別せよ。

寝し夜。

Q38. 次の傍線部「し」を識別せよ。

田植ゑし所。

Q39. 次の傍線部「し」を識別せよ。

文を読みしこと。

Q40. 次の傍線部「し」を識別せよ。

露こぼれし葉。

Q41. 次の傍線部「し」を識別せよ。

あひ知りし人なり。

Q42. 次の傍線部「し」を識別せよ。

物書きし手。

Q43. 次の傍線部「し」を識別せよ。

いと美しき花。

Q44. 次の傍線部「しか」を識別せよ。

風吹きしかば、波立ちぬ。

Q45. 次の傍線部「し」を識別せよ。

都に住みし頃。

Q46. 次の傍線部「し」を識別せよ。

御所に参りし朝。

Q47. 次の傍線部「し」を識別せよ。

知りし事。

Q48. 次の傍線部「し」を識別せよ。

答へし人。

Q49. 次の傍線部「し」を識別せよ。

仕うまつりしかな。

Q50. 次の傍線部「し」を識別せよ。

いまし思ふ。

【第3部】応用編（Q51～Q80）

Q51. 次の傍線部「し」を識別せよ。

ありと聞きしものを、見ねば信ぜず。

Q52. 次の傍線部「し」を識別せよ。

春来しかど、花咲かず。

Q53. 次の傍線部「し」を識別せよ。

名にし負はばいざ言問はむ都鳥わが思ふ人はありしやなしや。

Q54. 次の傍線部「し」を識別せよ。

行幸したまひしことあり。

Q55. 次の傍線部「し」を識別せよ。

心ぞ思ひし。

Q56. 次の傍線部「し」を識別せよ。

言ひし人ところ思へ。

Q57. 次の傍線部「し」を識別せよ。

あはれと思ひし人。

Q58. 次の傍線部「し」を識別せよ。

春の夜の夢ばかりなる手枕に、かひなくたたむ名こそ惜しけれ——この歌、誰が詠じしぞ。

Q59. 次の傍線部「し」を識別せよ。

名にし負ふ。

Q60. 次の傍線部「し」を識別せよ。

月光清しと仰せらる。

Q61. 次の傍線部「し」を識別せよ。

都にとどまりし人なし。

Q62. 次の傍線部「し」を識別せよ。

物食ひし所。

Q63. 次の傍線部「し」を識別せよ。

結婚したまふ。

Q64. 次の傍線部「し」を識別せよ。

人言ひしかど、無視せり。

Q65. 次の傍線部「し」を識別せよ。

なほし思ふ。

Q66. 次の傍線部「し」を識別せよ。

物思ふ秋ぞ悲しき。

Q67. 次の傍線部「し」を識別せよ。

いみじく美しき。

Q68. 次の傍線部「し」を識別せよ。

帰りしかな。

Q69. 次の傍線部「し」を識別せよ。

嘆きし夜。

Q70. 次の傍線部「し」を識別せよ。

山高しと聞く。

Q71. 次の傍線部「し」を識別せよ。

食事したまふ。

Q72. 次の傍線部「し」を識別せよ。

ありしやなしや。

Q73. 次の傍線部「し」を識別せよ。

よかりしこと。

Q74. 次の傍線部「し」を識別せよ。

春雨降りしかど、花散らず。

Q75. 次の傍線部「し」を識別せよ。

我のみし怒り、人は笑へり。

Q76. 次の傍線部「し」を識別せよ。

詠じし歌、世に伝はる。

Q77. 次の傍線部「し」を識別せよ。

散りし花、また咲くべし。

Q78. 次の傍線部「し」を識別せよ。

笛吹きしぞあはれなる。

Q79. 次の傍線部「し」を識別せよ。

嘆きしかばこそ、目も赤かれ。

Q80. 次の傍線部「し」を識別せよ。

ありし昔。

【第4部】入試レベル（Q81～Q100）

Q81. 次の傍線部「し」を識別せよ。

都にありし人を思ひ出づるに、涙ぞこぼるる。

Q82. 次の傍線部「し」を識別せよ。

月の都に住みし人にやあらむ。

Q83. 次の傍線部「し」を識別せよ。

玉のごとし。

Q84. 次の傍線部「し」を識別せよ。

名にし負はばいざ言問はむ都鳥わが思ふ人はありやなしやと（伊勢物語）——この歌、京を離れし男の心ぞあはれなる。

Q85. 次の傍線部「し」を識別せよ。

いと尊しと人皆涙を流す。

Q86. 次の傍線部「し」を識別せよ。

よしし思はじ。

Q87. 次の傍線部「し」を識別せよ。

詠みし人多かれども、心に残るは少なし。

Q88. 次の傍線部「し」を識別せよ。

我ぞ知る、唐土に渡りし人。

Q89. 次の傍線部「し」を識別せよ。

物したまふ御方。

Q90. 次の傍線部「し」を識別せよ。

あけぼのの空に消えし雲のごとし。

Q91. 次の傍線部「し」を識別せよ。

来し方行く末、つらつら思ふに、悲しきこと多し。

Q92. 次の傍線部「し」を識別せよ。

仏に祈りしかひあり。

Q93. 次の傍線部「し」を識別せよ。

ありがたしと人みな申しけり。

Q94. 次の傍線部「し」を識別せよ。

いみじく悲しき心地す。

Q95. 次の傍線部「し」を識別せよ。

旅寝し夜の夢のさめがてに、月見るほどぞあはれなる。

Q96. 次の傍線部「し」を識別せよ。

もろこしに渡りしかの僧、なほ我が国を恋ふ。

Q97. 次の傍線部「し」を識別せよ。

言ひし人にぞ似たる。

Q98. 次の傍線部「し」を識別せよ。

春の夜の闇はあやなし。

Q99. 次の傍線部「し」を識別せよ。

月夜よし、夜よしと人の告げしかば、出で見れば、げに明るし。

Q100. 次の傍線部「し」を識別せよ。

行く川のながれは絶えずして、しかも、もとの水にあらず。よどみに浮かぶうたかたは、かつ消えかつ結びて、久しくとどまりたるためしなし。